

こんなとき!! 訪問看護をご利用ください

(1) 入退院を繰り返している

(糖尿病、心不全、肺炎や尿路感染など)

入退院を繰り返している原因を考え、生活・療養環境を整えます。
入院中に医師や看護師などから指導されたことが、自宅で行えるか不安や心配に思っている時に、自宅で再度指導します。



(2) がんの治療や病状の進行による苦痛・不安などがある

がんによる

- ◆症状や療養生活に不安が強い人
- ◆痛みや食欲不振など苦痛が強い人

(治療や通院をしている人も対象です) に対して

ご本人やご家族の訴えを聞き、不安や苦痛の原因を探り、症状が緩和するように、医師と連携しながら対応方法を考え、助言等を行います。

早期から訪問看護師が関わることで、状態の変化に対応することができます。また、末期状態でも、在宅療養が継続できるよう支援します。

(3) 認知力の低下や認知症がある



- ◆物忘れ等の認知力の低下症状などでお困りの人

に対して、症状の出現する原因(病的、薬の副作用など)を探り、対応方法を助言します。

- ◆認知症の人のBPSD(行動・心理症状)の対応に困っている人

に対して、服薬や対応方法を探り、症状の緩和やご家族の負担が軽減できるように、医師やサービス関係者と連携して支援します。

認知症の症状によって専門医へ受診ができるように支援します。

(4) 精神障がいなどで不安や不眠がある

- ◆うつ病や統合失調症などの疾病を持ち、生活に支障がある人に対して、かかりつけ医と連携し、症状に伴う苦痛などを聞き、具体的な生活方法を一緒に考えます。

精神障がいを持つ家族の負担は大きいため、軽減を図るため精神面なサポートを行うとともに、利用できるサービスなどを一緒に考え助言します。

(5) 嚥下機能が低下している

認知症や脳卒中等で麻痺のある人は、嚥下機能の低下による誤嚥の危険性が高く、誤嚥によって肺炎を引き起こす可能性があります。

- ◆飲み込めない
 - ◆のどにつかえる
 - ◆むせる（むせないで誤嚥している場合もあります）などの症状に対して、誤嚥を防ぐため舌の動きを見ながら咀嚼機能などを総合的にアセスメントして
 - ・口腔ケア
 - ・嚥下訓練をして嚥下機能を高める
 - ・正しいポジションでの食事介助方法
 - ・食材の選択や形態など食事作りの工夫等について助言や実施を行います。
- 必要時にはヘルパーさんが安心・安全に食事介助できるよう助言等も行います。



(6) 栄養状態が良くないので改善したい

- ◆食事量や食欲の低下により健康状態や栄養状態に不安
- ◆急な体重の減少などが心配

このような状態に対して原因を探り、対応方法について一緒に考え助言や栄養管理を行います。医師の指示にて持続点滴などの管理を行う場合もあります。

(7) 褥瘡(床ずれ)がある、発生する危険がある

寝たきり状態や麻痺などで身体が不自由な人は、褥瘡（床ずれ）が発生する危険性があります。

- ・栄養状態
- ・皮膚の状態
- ・日常の体位

等を総合的にアセスメントして褥瘡の発生を予防し、医師の指示で処置等を行います。



(8) 医療処置を継続する必要がある

- ◆経鼻、胃ろう、膀胱留置等各種カテーテル
- ◆点滴や吸引
- ◆在宅酸素や人工呼吸器などの医療機器
- ◆インシュリンの自己注射など

上記のような医療機器や各種カテーテルの管理や関連する処置を実施します。

また、ご本人やご家族に対して指導なども行います。

退院後（外泊時）、処置の継続が必要な場合には、入院先の医療機関職員と共同して、在宅への移行に向けて支援することができます。

(9) 自宅での療養生活に不安がある（外泊や退院直後等）

入院前からの生活の変化を把握し、療養生活のイメージができるよう支援します。

入院施設での退院カンファレンスに参加し、外泊時や退院直後から健康状態を観察して、主治医や薬剤師、ケアマネジャーなどと連絡を取り、必要に応じて助言や調整および処置を実施します。

ご家族に対して必要な介護療養指導を行い、療養生活が送れるように支援します。



(10) 乳幼児、小児で療育支援が必要である

- ◆小児慢性特定疾患などで医学的管理が必要
- ◆療育に対して不安に思っている

などに対して相談に乗り一緒に考え支援します。

主治医と連携しながら症状が安定し自宅で過ごせるよう支援します。

成長過程における就学など、学校や地域との連携も図っていきます。



(11) 自宅で最期まで過ごしたい

がんや老衰など、様々な病気をかかえている方々が住み慣れた自宅で最期まで過ごせるように支援します。

今後、起こりうる症状を予測して対応し、状態により主治医を含め地域の介護サービス担当者と連携しながら支援します。